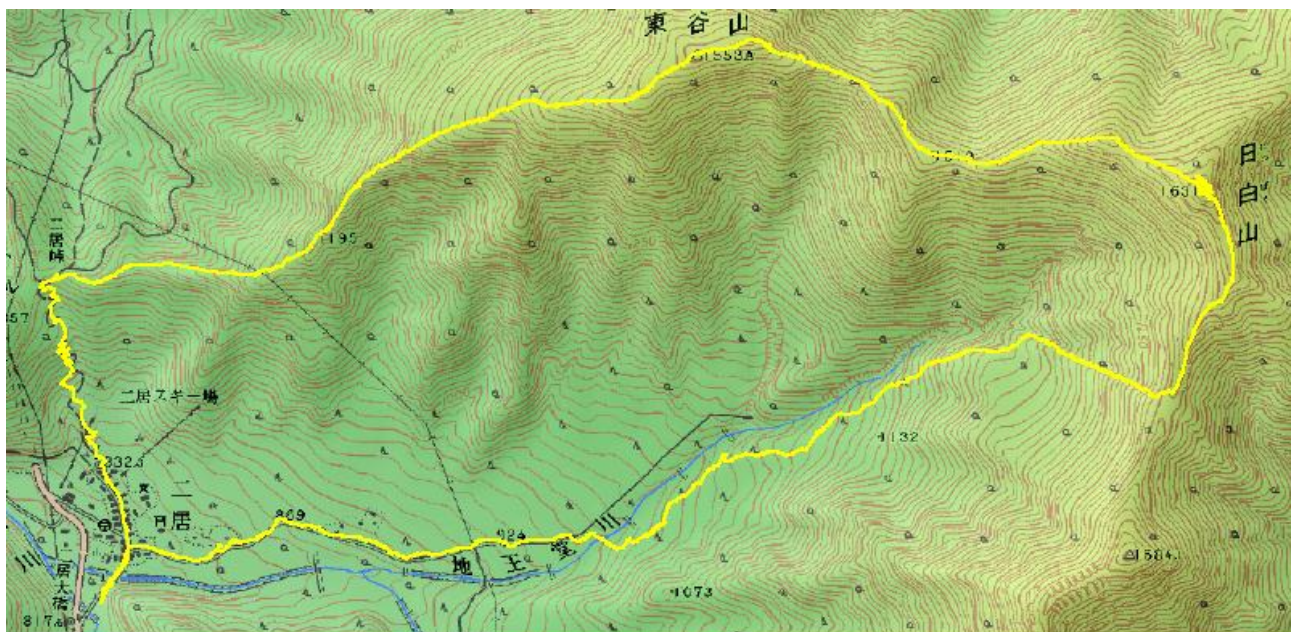


日白山山行記録



雪庇尾根の上り



仙ノ倉と平標



東谷山から日白山へ

目的地	日白山	期 日	平成23年4月30日(土):曇り一時小雨
山行人	笠原正雄・加藤イツ子・大谷雅子・荒木幸代	特 記	今期2度目の登頂。周回で最短ルート下山。

地点名	時刻	記 事
長岡北バス停	6:40	高速バス停で拾って貰う。
二居宿場の湯P	8:20 歩き出し	まだ営業前。ここから東谷山が見える。林道は雪と地面が交互。
二居峠東屋	8:55~9:00	すっかり雪が消え、ベンチ下は無雪。ここからの尾根取り付きは笹を掴みながら掻きあがる。雪に上がるが、すぐにヤブコギ。所々雪を拾いながら登高する。筍山の雪も僅かを残すのみだ。宿場の湯に駐めた車が見える。巡視路地面を進む。
送電線鉄塔下	9:20~9:30	全面雪で、鉄脚周囲だけが雪が消えている。そこにフキノトウが出ていて、採る。
ダケカンバ帯	10:05	一部ヤブコギの雪庇尾根を終え、樹林の広尾根へ。ブナ帯へと変わっていく。
雨具上衣を着る	10:25	雲が垂れ込んではいるが、周囲の山は見えている。風を受けて寒くなる。
東 谷 山	10:45~10:55	日白山への進路と下山予定のルートもはっきりと見えている。僅か雨を感じる。
鞍 部	11:02	下り斜面でMがしりもちをついて滑ったが、柔らかい雪で2~3mで止まった。このあたりから風がかなり強くなる。
日 白 山	11:40	少し藪が出ている。その藪木に昨日の日付の登頂板が下げられている。県境縦走路から谷川岳と見えている。馬蹄形縦走路もしっかり見える。三山は雲の中。山頂の雪が割れてその下の藪が覗ける。風除けの穴を掘ってランチ。山スキーの男3人が土樽から上がって来たと言う。途中雨脚がやや強くなる。
下 山 へ	13:05	二居俣ノ頭方向へ周囲の景色を楽しみながら下る。雨は上がった。
最低鞍部	13:20	右折して林間を下る。急降下だが柔らかい雪で滑る心配は無い。
地王堂川右岸へ	14:00	杉植林地に入るが、作業道があるような無いような。若年生杉の雪倒れで分からなくなる。地図での橋はもう少し下流だが、堰の下に橋があった。林道に乗る。
二居宿場の湯P	14:35	道脇のフキノトウを採りながら歩く。入浴後帰宅。

以前より約束をしていたK女のリクエストに応じて出かけた。今月4日に登頂した時はガスでまったく展望がなく、スカだった。今回、青空とはいかなかったが、それでもまずまずの展望であった。雪消えも進み、ヤブコギが長くなるかとも思ったが、今冬の大雪で比較的楽に進めた。雪も絞まり、今冬、初めてカンジキを持たずに入山した。